

栽培漁業に関する技術

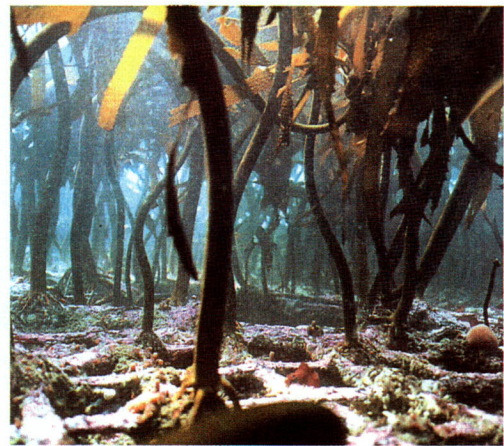
効果的な放流技術を確立するため、放流に適した大きさ、時期、場所、量などについて、調査・研究を行っています。

アワビとウニは年間約6億円の水揚げがあります。

(財)県栽培漁業センターでは、人工的に種苗を生産して放流しています。



アワビとウニの増殖に適した磯根漁場を人工的に造成するため、アワビとウニの餌となる海藻を増やす研究を行っています。



水産試験場

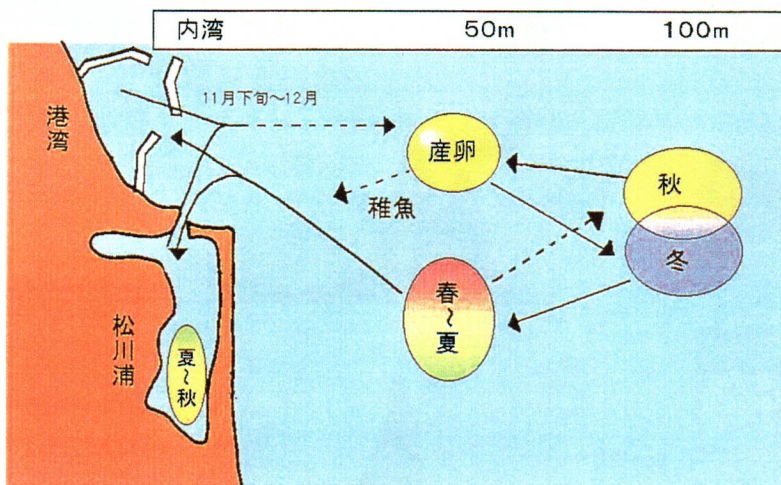


図 季節別分布(推測)

ホシガレイは、春から夏にかけて灘に、秋から冬にかけて沖に移動し、12月頃に産卵のため一時的に灘に移動すると考えられます。

また、ホシガレイは放流した海域からあまり移動しない魚であることがわかりました。